

トップ

トピックス

新着ニュース

写真ニュース

ランキング

記事 | キーワード



総合

芸能

社会

スポーツ

経済

国際

IT

ライフ

トップ > 新着ニュース > 経済 > 経済

盲点だった「密」対策 GoToでトイレ殺到を予防する「表示」システムに注目【コロナに勝つ！ニッポンの会社】

J-CAST会社ウォッチ / 2020年10月29日 19時15分



連休には行列ができる……（写真は、サービスエリアのトイレ）

LEDライトを活用してトイレの使用状況が容易にわかる表示システムを販売しているトヨタクラフト株式会社(神奈川県相模原市)は、コロナ禍の「密」対策で問い合わせが急増したことから、急きょ対応部署を新設するなど、対応に追われている。2020年10月27日の発表。

同社のトイレ表示システムは、LEDにより視認性に優れ遠くからも確認でき、ライトが切れる心配がない。また、ドアの開閉など検知するセンサーと組み合わせるシステムや、トイレ数の多い施設

では入口に利用状況が一覧できる表示板を設置できるという。

安価で手軽に設置できる

新型コロナウイルスの影響がなお続いているなか、観光関係や飲食業界を支援するGoToキャンペーンが始まり、外出する人が急増。施設や飲食店によっては、混雑しているところもある。人が集まる場所で、分散化が最も困難なのがトイレ。2020年9月の4連休では、観光地、各施設でトイレの行列が話題になった。

トヨタクラフトでは2019年10月に、トイレの使用状況が容易にわかる表示システムを発売。全国がコロナ禍に見舞われ「新しい生活様式」で「密」の回避が求められたことをきっかけに問い合わせが増え、緊急事態宣言が解除された後の6月以降に急増。その数は、春先から5倍以上になった。

従来のトイレの使用を知らせる表示システムは、一定の規模の施設では大型スクリーンや、最近では端末で確認できるものがある。しかし、トヨタクラフトによると、いずれも数十万円～数百万円の投資が必要で、また設置までに時間がかかることが課題だった。

同社のシステムは、ドアの開閉など検知するセンサーと表示器を組み合わせるもので、半日～1日で作業できる。費用はワンセット数万円規模。トイレ数の多い施設では入口に利用状況が一覧できる表示板の設置可能という。

スーパーのカートやカゴを抗菌化

ショッピングカートやバスケットなどスーパーマーケットなどで使う備品の開発・販売を手がける株式会社スーパーメイト(岐阜県笠松町)は、新型コロナウイルスによる感染拡大で意識が高まった感染症対策を強化するため、店舗で不特定多数の人が使用するカートやカゴのグリップについて抗菌効果の高い素材に変更した。2020年10月27日の発表。



新着

社会

経済

国際

エンタメ

スポーツ

話題

ランキング

写真

トレンド・くらし

IT・デジタル

ファッション

ニュース提供元一

覧

検索

ニュース > 話題 > トレンド・くらし

盲点だった「密」対策 GoToでトイレ殺到を予防する「表示」システムに注目【コロナに勝つ！ニッポンの会社】

2020年 10月29日 19時15分 提供元：J-CAST



写真拡大

LEDで遠くからもわかりやすい

LEDライトを活用してトイレの使用状況が容易にわかる表示システムを販売しているトヨクラフト株式会社(神奈川県相模原市)は、コロナ禍の「密」対策で問い合わせが急増したことから、急ぎよ対応部署を新設するなど、対応に追われている。2020年10月27日の発表。

同社のトイレ表示システムは、LEDにより視認性に優れ遠くからも確認でき、ライトが切れる心配がない。また、ドアの開閉など検知するセンサーと組み合わせて設置するシステムや、トイレ数の多い施設では入口に利用状況が一覧できる表示板を設置できるという。

安価で手軽に設置できる

新型コロナウイルスの影響がなお続いているなか、観光関係や飲食業界を支援するGoToキャンペーンが始まり、外出する人が急増。施設や飲食店によっては、混雑しているところもある。人が集まる場所で、分散化が最も困難なのがトイレ。2020年9月の4連休では、観光地、各施設でトイレの行列が話題になった。

トヨクラフトでは2019年10月に、トイレの使用状況が容易にわかる表示システムを発売。全国がコロナ禍に見舞われ「新しい生活様式」で「密」の回避が求められたことをきっかけに問い合わせが増え、緊急事態宣言が解除された後の6月以降に急増。その数は、春先から5倍以上になった。

従来のトイレの使用を知らせる表示システムは、一定の規模の施設では大型スクリーンや、最近では端末で確認できるものがある。しかし、トヨクラフトによると、いずれも数十万円～数百万円の投資が必要で、また設置までに時間がかかることが課題だった。

同社のシステムは、ドアの開閉など検知するセンサーと表示器を組み合わせるもので、半日～1日で作業できる。費用はワンセット数万円規模。トイレ数の多い施設では入口に利用状況が一覧できる表示板の設置可能という。

スーパーのカートやカゴを抗菌化

ショッピングカートやバスケットなどスーパーマーケットなどで使う備品の開発・販売を手がける株式会社スーパーメイト(岐阜県笠松町)は、新型コロナウイルスによる感染拡大で意識が高まった感染症対策を強化するため、店舗で不特定多数の人が使用するカートやカゴのグリップについて抗菌効果の高い素材に変更した。2020年10月27日の発表。